

国際会議への
若手会員参加補助制度を
実施しています!

国内開催の会議やオンライン会議も対象です。
オンライン参加する場合の参加補助の応募は
通年で受け付けています。

※会議によっては、中止またはオンライン開催への
変更の可能性もあります。

ABA 米国法曹協会
American Bar Association

世界に会員をもつ全米最大の法曹団体
個人と団体を会員とし、継続研修や司法制度改革、
弁護士業務規範規則の制定等、幅広い活動を行っています。
大会では、公益・ビジネスを含む多彩なセッションが
開催されます。

 **国際法セクション年次大会**
in **ワシントン**(米国)
2024年 5月7日～10日

 **2024年 年次大会**
in **シカゴ**(米国)
2024年 7月31日～8月6日


AIJA 若手法曹国際協会
International Association of Young Lawyers


45歳以下の法曹等を会員とする法曹団体
ヨーロッパ諸国を中心に、
90か国約4000人が加盟しています。

 **第62回 年次大会**
in **マドリッド**(スペイン)
2024年 9月3日～7日

IBA 国際法曹協会
International Bar Association

「世界の法曹の声」を掲げる
世界規模の法律家の団体
8万人以上の世界各国の法曹、
190以上の法曹団体が加盟しています。
ビジネスロー・人権・弁護士会運営等、
あらゆる分野を取り扱っています。
年次大会は、数千名規模の参加者が集まります。

 **IBA人権カンファレンス**
in **東京**(日本)
2024年 4月5日～7日

 **2024年 年次大会**
in **メキシコシティ**(メキシコ)
2024年 9月15日～20日

※その他各種イベントの詳細については各団体のウェブサイトをご確認ください。

※記載の会議以外にも補助制度の対象となる会議がたくさんあります。会員専用ウェブサイトでご確認ください。

※開催時期・開催地については、本紙作成時点の情報です。オンライン会議についても、本制度による費用補助が適用される可能性
がありますので、募集要項等、詳細は会員専用ウェブサイトをご確認ください。

お問い合わせ  日本弁護士連合会企画部国際課

☎ 03(3580)9741 / ✉ wakate-kokusai@nichibenren.or.jp

🌐 <https://www.nichibenren.or.jp/activity/international/member/conference.html>

国際会議に

参加しよう。

世界中に弁護士ネットワークを広げ、最先端の議論に触れてみませんか

UIA 国際弁護士連盟
International Association of Lawyers

多言語・多文化主義を掲げる
世界規模の法律家の団体
1927年に設立された国際法曹団体で、
110を超える国から、
団体や1600人以上の個人会員が加盟しています。
大会では、英語だけでなく、
フランス語、スペイン語も使用され、
UIAが謳う「多言語・多文化」の理念を実感できます。

 **第68回 年次大会**
in **パリ**(フランス)
2024年 10月30日～11月3日

年次大会の登録費に関しては、
若手会員に限らず
割引価格で参加できる可能性があります。

LAWASIA
The Law Association for Asia and the Pacific
アジア太平洋法律家協会

アジア太平洋の法律問題を広くカバー
アジア太平洋地域における法の支配の確立や、
法曹の連携強化等を目的とする国際法曹団体です。
年次大会では、
国際人権、家族法、環境問題、企業法務、ADR等
多彩なテーマのセッションが開かれます。

 **第37回 年次大会**
in **クアラルンプール**(マレーシア)
2024年 10月13日～15日

IPBA 環太平洋法曹協会
Inter-Pacific Bar Association

アジア太平洋の企業法務に特化
アジア・太平洋地域の法曹の交流と、
企業法務や商事法務に関する専門知識の共有等を
目的とする法曹団体です。
年次大会には、毎年1000人規模の参加があります。

2025年 年次大会 未定



詳細は日弁連ウェブサイトへ

日弁連 国際会議に参加しよう。



オンラインフォームから
応募可能



JIBA 日本弁護士連合会



ABA年次大会の様子



LAWASIA年次大会の様子



ローエイシア福岡人権大会の様子



掲載されている会議例以外にも、オンライン会議や国内開催の会議に参加する場合も費用補助の対象となります！

ABA 米国法曹協会 American Bar Association

国際法セクション 年次大会 in ワシントン(米国)

2024年 年次大会 in シカゴ(米国)

Events & CLE - American Bar Association

検索

AIJA 若手法曹国際協会 International Association of Young Lawyers

第62回 年次大会 in マドリード(スペイン)

AIJA Upcoming Events

検索

IBA 国際法曹協会 International Bar Association

IBA人権カンファレンス in 東京(日本)

2024年 年次大会 in メキシコシティ(メキシコ)

IBA conferences and events

検索



UIA 国際弁護士連盟 International Association of Lawyers

第68回 年次大会 in パリ(フランス)

UIA events

検索

LAWASIA アジア太平洋法律家協会 The Law Association for Asia and the Pacific

第37回年次大会 in クアラルンプール(マレーシア)

LAWASIA Conferences and Events

検索

IPBA 環太平洋法曹協会 Inter-Pacific Bar Association

2025年 年次大会 未定

IPBA Upcoming Events

検索

その他の国際会議の例

対象会議の例は
こちらからご確認ください

VOICE

参加者の声

- 様々なセッションに参加し、各国の弁護士と情報交換することで、各国の法制度の概要や実務知識を得ることができた。特定の分野に特化した限定的な知識ではあるが、知識に実感感覚を伴えることができ、総論的な講義で得るものよりも使える知識になったと感じている。今後の弁護士会等での活動で会員らと共有していきたい。
- 地方の弁護士にとっても、渉外案件に対応することが必要不可欠となる。国際会議に参加し、多くの外国人弁護士と交流したり、最先端の議論についての講義を受講したりすることは、弁護士個人の能力向上のために非常に重要である。
- 日本の弁護士も、もっと他地域の弁護士と交流し、日本の独自な点(例えば原発事故被害、災害対応、薬害訴訟等)は海外にも紹介して、異なる分野の実践からも学び合った方がよいのかもしれないと感じた。
- 女性差別、権力にあらがう弁護士の保護が、今なお喫緊の課題であると感じた。実務家としての事件活動やプロボノ活動のほか、国際法律家団

体に入って一員として、UIAやLAWASIAが行う連携・支援に参画することも、一手段であると分かった。

- 各セッション間の休憩時間や昼食時にも様々な国の弁護士や法律家の方と交流できた。
- 参加したスポーツ法のセッションは、今後日本のスポーツ選手やスポーツ業界が直面していく問題を先取りするものであった。日本ではスポーツ界でもコーチや競技団体によるパワハラ問題がいくつも報道されているが、セッションに参加して、世界はスポーツ選手の保護や契約問題について何歩も先に進んでいることが分かった。
- 参加した会議は、労働者側で労働事件を専門的に扱う弁護士や労働組合関係者のみに参加が認められているため、自由闊達な意見交換をすることができ、日本では知り得ない各国の労働紛争の実情やビジネスと人権に関する最先端の取組を知ることができた。自らの興味や専門分野を議論される国際会議に出席することの意義は大きいのではないだろうか。

